

(7月13日疾病管理庁報道資料仮訳)

## 再流行に備え、4次接種対象の拡大及び未接種者の接種奨励

(前略)

□コロナ 19 予防接種対応推進団(団長ペク・ギョンラン庁長、以下「推進団」)は、再流行に備えてハイリスク群の重症死亡予防のため、**4次接種の対象を拡大すると発表した**。追加される**4次接種対象は、50 代の年齢層、18 歳以上の基礎疾患患者、障害者・ホームレスの生活施設等だ**。

(略)

□ 接種詳細計画:ハイリスク群の接種勧告

### <接種対象変更事項の要約>

	変更前	変更後
4次接種 (ハイリスク群)	・ 18 歳以上の免疫低下者 (勧告)	・ 同左
	・ 感染脆弱施設 (勧告) : 療養病院・施設及び精神健康増進施設の入院・入所・従事者	・ 感染脆弱性施設 (勧告) : 同左 + 障害者施設及びホームレス施設入院・入所・従事者
	・ 80 歳以上 (勧告) ・ 60・70代 (許容)	・ <b>50 歳以上 (勧告)</b>
	-	・ 18 歳以上の基礎疾患患者 (勧告)
3次接種 (12 歳以上)	-	・ 4次接種対象 (ハイリスク群) に対する接種の積極的な勧告
基礎接種 (5 歳以上)	-	・ 成人対象に基礎接種の完了勧告

○ (接種目標)再流行の恐れに備え、コロナ 19 のハイリスク群に対する重症・死亡予防を目的とする。

○（接種対象）50 代の年齢層全体、18 歳以上の基礎疾患者、感染脆弱施設（障害者・ホームレス生活施設※）入所者・従事者のうち3次接種を完了し、4か月（120 日）が経過した方々を対象に接種を勧告する。

※2022 年の社会福祉施設管理案内指針上、社会福祉施設の種類に応じた生活施設  
-（50 代の年齢層）4次接種の対象者である 50 代の年齢層は、出生年度基準で 1963 年以降の出生者から 1972 年以前の出生者までが該当する。

-（18 歳以上の基礎疾患者）コロナ 19 の予防接種問診票に基礎疾患を保有しているかどうかを表示し、予診医師の確認・相談後に接種を実施する。

※18～49 歳の年齢層は、4次接種の事前予約時に「基礎疾患がある場合4次接種が可能である」という文章が書かれたポップアップウィンドウ表示予定

（略）

○（接種間隔）3次接種後、少なくとも4か月（120 日）経過時点から接種できるが、個人的事由（国外出国、入院・治療等）がある場合、3次接種完了 3 か月（90 日）以降から当日接種で接種可能である。

○（接種方法）事前予約ホームページ(ncvr.kdca.go.kr)を通じての予約や、当日接種で接種が可能であり、ホームページを通じた代理予約や電話予約（1339、自治体コールセンター）もできる。

○（接種日程）事前予約は 7 月 18 日（月）から始まり、予約接種は 8 月 1 日（月）から施行する予定である。

-当日接種は 7 月 18 日（月）から可能で、①カカオトーク・ネイバーで残余ワクチンを予約するか、②医療機関への有線連絡による予備名簿の活用で接種できる。

○（副反応の監視）接種を受けたハイリスク群全員に接種時に登録された連絡先に、接種後 3 日目に注意事項及び措置事項を再案内する計画である。

（後略）

<出典元 URL>

[http://ncov.mohw.go.kr/tcmBoardView.do?brdId=3&brdGubun=31&dataGubun=&ncvContSeq=6752&contSeq=6752&board\\_id=312&gubun=ALL](http://ncov.mohw.go.kr/tcmBoardView.do?brdId=3&brdGubun=31&dataGubun=&ncvContSeq=6752&contSeq=6752&board_id=312&gubun=ALL)